

# 三小だより

# 4月号

平成27年度の始まりにあたって

校長 藤本 賀津雄

去る3月18日には、51名の卒業生が巣立ち、この4月6日には、新たに47名のかわいい一年生を迎えました。在校生の子どもたちは、それぞれ一つずつ学年が上がりました。どの子も新しい気持ちになって頑張ってもらいたいと思っています。

さて、今年度は次のような子ども像をめざして教育していきたいと思っています。

## 【元気で明るく、進んであいさつする子】

あいさつというのは、「あなたのことを気にかけていますよ」というメッセージを相手に伝えていることなのです。あいさつの輪が広がれば、思いやりの心が広がります。

いくら勉強ができて、あいさつができなければ社会で通用しません。学校に限らず、おうちでも地域でも、進んであいさつのできる子どもを育てていきたいと思っています。

## 【ちがいを認め合い、仲間を大切にする子】

人間はみんな一人ひとりちがった個性を持っており、ちがっているからこそ互いを高めあっていけていいのです。ところが、ちがっているからといって相手をいじめたりするようなことがあってはなりません。三小ではいじめは絶対に許しません。お互いにちがいを認め合える優しい子どもに育ててほしいと思っています。



## 【ねばり強く取り組み、最後まであきらめない子】

最近、根気やねばり強さのない子どもが増えているように感じます。与えられた課題に対して「無理」とすぐにあきらめてしまうのではなく、最後まで頑張ろうとする子どもを育てていきたいと思っています。これは将来さまざまな困難に出会ったときに、乗り越えて行こうとする忍耐力や持続力に結びついていきます。

以上の三点を特に意識しながら、この一年間全教職員が力を合わせ、三小の子どもたちを更に大きく成長させていきたいと決意しています。子どもたちの教育に当たっては、学校だけでなくご家庭でも同じ目標をもち、協力し合ってこそ教育効果が高まります。保護者の皆様のご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。